

# おといねっふ 議会だより



【 救助技術指導会全道大会に向け特訓中 】

## 令和8年 第2回定例会

### 目次

第2回定例会 行政・教育行政報告	P 1～P 5
第2回定例会一般質問	P 6
第2回定例会で可決・承認された議案	P 7～P 9
〈報告〉道外視察研修（東京都清瀬市）	P 9～P 11
議会の動き	P 11

# 令和7年度一般会計

# 9800万円を決算積立

— ふるさと納税「体験型返礼品」を検討 —

令和8年第2回定例会が6月11日に召集され、村長・教育長の行政報告、議員1名の一般質問が行われた後、条例改正や一般会計補正予算などの議案25件の審議を行い、会期を1日残し、同日閉会しました。

## 行政報告（要旨）

村長 遠藤 貴幸

### ●総務課関係

#### ◇令和7年度一般会計決算状況

令和7年度一般会計は、1億696万1千円の残余が確定。決算積立として財政調整基金8000万円、地域福祉基金1000万円、農業振興基金800万円、合計9800万円を積み立てし、残り896万1千円を令和8年度に繰り越した。また、令和7年度中に4010万円の積み立てと、令和8年度

の運転資金確保のため、人づくり振興基金、公共施設整備基金、芸術・文化振興基金の3つの目的基金から9000万円を財政調整基金へ組み替えた。厳しい財政運営の中、決算において基金積み立てができたことは、皆さまのご協力のおかげ。心からお礼上げる。今後も健全財政の確立に努める。

#### ◇ふるさと寄附金

一般のふるさと納税が、1144件、1734万9千円、企業版ふるさと納税が24件、1410万円となった。返礼品はハワイトアスパラが好評で、全申込件数



の3分の2を占めている。ご寄付いただいた皆さまのご厚志に深く感謝を申し上げ、有効に活用させていただきたく。現在、体験型の返礼品も検討しており、寄附額の増加を図っていく。

#### ◇物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

物価高騰の影響を受けている村民の生活を支援するため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した支援金を3月から順次支給し、エネルギー価格高騰対策支援事業支援金として33事業者に計444万円、食料品等物価高騰生活支援給付金として588名に一人あ

たり2万5千円の計1470万円の支給を5月末に終えた。

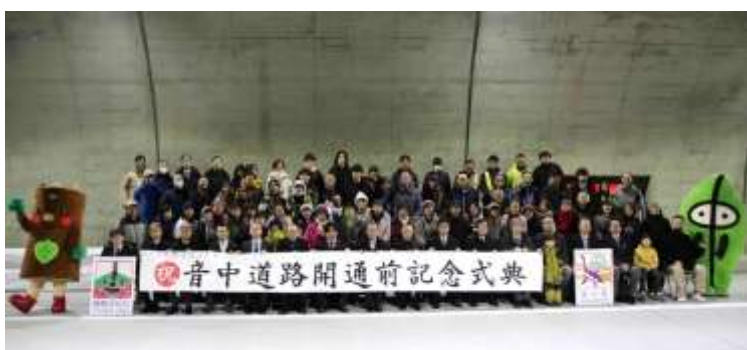
#### ◇地域活性化起業人副業型人材を任用

本年4月より、NTTドコモの飯盛（いさかり）広規氏を地域活性化起業人副業型として任用した。庁舎内でクラウド活用セキュリティモデルの刷新、生成AIの導入と定着化など、庁舎内通信のインフラの現状調査や可視化などのDX推進に係る助言や技術支援業務に従事いただいている。専門的なノウハウやアドバイスをいただき、DX推進に向け連携を密にしていきたい。

#### ◇音中道路の開通および記念イベント開催

音中道路は3月22日に供用開始を迎えた。本村の経済や観光の発展、さらには救急医療や災害時の防災路として極めて重要なインフラであり、これまで関係いただいた多くの皆さまに深く感謝とお礼を申し上げる。開通に先立ち、3月15日には

中川町との共催による「開通式前プレイベント」を音中トンネル内で開催し、両町村の住民が開通の喜びを分かち合う有意義な機会となった。また、開通日には開通記念式典が中川町で行われ、上川・宗谷両地域の更なる連携強化への決意を新たにされた。開通効果を最大限に活かし、地域活性化と安心・安全な村づくりを力強く進めていく。



開通前の音中トンネル内で記念撮影

◇地域活性化起業人制度の活用

企業の専門的な知見やネットワークを本村の地域課題解決に活かすため、今年度は企業派遣型および副業型を合わせた体制で事業を展開していく。

前年度からの継続の6社にご協力をいただくほか、副業型から企業派遣型へ移行の1社、さらに新たな専門知見を導入するため、合同会社多元現実および木曜合同会社の2社と新規に協定を締結した。これら多様な分野のプロフェッショナルとの協働を通じて、移住定住の促進、地域産業の活性化、さらにはDXの推進や情報発信の強化に努め、持続可能な村づくりを力強く邁進していく。

◇二地域居住コーディネーターの設置

移住定住や関係人口の創出を力強く推進するため、4月より総務省の制度を活用し「音威子府村二地域居住コーディネーター」として、ハミットの一見(い

ちみ賢一氏に業務を委託した。今後は、二地域居住希望者のニーズ把握やマッチング、短期移住住宅の管理運営支援などのハード・ソフト両面における受入環境の整備を進めていく。さらに、都市部企業やテレワークを対象としたプロモーション、エコ・ミュージアムおさしまセンター等と連携した滞在プログラムの開発も予定。地域一体となった受入体制の構築に全力を尽くす。

◇音威子府村交通ターミナル内店舗運営事業者の選定・開店

交通ターミナルの利便性向上と中心市街地の賑わい創出のため、民間活力を導入した効率的な施設運営の検討を進め、この度、村内の事業者の「いのしゅうさぎ(代表・竹本修氏)」と4月1日付で賃貸借契約を締結した。今後は地域の新たな交流拠点として、来訪者や住民に一層親しまれる魅力ある店舗運営が行われるよう、村としても連携していく。



交通ターミナル内の店舗

◇エコ・ミュージアムおさしまセンターおよび高橋昭五郎彫刻の館の開館

4月26日に今季の開館をし、村内外から多くの皆さまにご来場いただき、砂澤ビッキ氏や高橋昭五郎氏の精神が息づく多様なアート作品の鑑賞を楽しんでいただいている。本年度についても、独自イベントや斬新な企画展の開催、おと高卒業生等による木工・芸術作品の委託販売の更なる充実などを通じ、施設の魅力を広く発信していく。

◇小さな村g7サミット参加

5月22日からの3日間、山梨県丹波山村で開催された「第8回小さな村g7サミット」に参加し

た。本年は「さまざまな関わり方で支える小さな村の持続可能性」をテーマに、定住人口のみならず、二地域居住や関係人口など、多様な主体が地域を支える仕組みについて深い議論を交わし、小さな村の挑戦から我が国全体の持続可能性を切り拓く決意を込めた「共同宣言」を全会一致で採択した。今後も、7村の強固なネットワークを生かし、本村の地域活性化や課題解決に向けた施策へ積極的に反映させていく。



「共同宣言」を採択した7村の村長たち

●消防支署関係

7月18日に江別市で開催される救助技術指導会全道大会の上川北部消防事務組合代表として、音威子府消防支署職員が選出された。今後も、消防の救助活動に必要な不可欠な体力、精神力、技術力を養う努力を続けるとともに、大会での活躍を期待する。

春季消防演習が5月24日、旧中学校グラウンドにおいて、消火栓と積載水を使用する放水訓練が行われた。演習前には消防車両や消防機材の展示、救助用具の使用体験も行われ、多くの住民の皆さまが興味深そうに見学された。

6月28日には名寄分会消防総合訓練大会が美深町で開催される。小型ポンプ実践訓練の連覇も含め、団員の皆さまの一層のご尽力をお願いする。

●住民課関係

◇交通安全・生活環境

春の全国交通安全運動が4月6日から15日まで取り組まれ、



こぐまクラブ 発会式

交通安全指導員の皆さまを中心に、新入学期の登校時街頭指導が実施された。また、幼少期からの交通安全ルールの大切さを学ぶ「こぐまクラブ」の発会式が4月15日に開催された。子どもたちをはじめ、村民の皆さまが交通事故に遭わない、おこさない安全で安心できる生活の礎となることを期待する。

ごみのない、きれいな街づくりをめざし「クリーンおといねっふ」を5月24日に開催し、音威子府・咲来両地区で約120名の皆さまにご協力をいただいた。今後、不法投棄の監視等も行うなど、村民の皆さまと共にきれいな街づくりを進めていく。

**◇地域複合施設利用状況**  
 地域複合施設「ときわ」は、現在、入居者8名、短期宿泊事業利用者2名となっており、通所介護事業の利用者も含め、日々健康に留意され過ごされている。また、生きがいデイサービスでは、健康で元気な方でも、介護認定されていない方でも利用できる体制となっている。引き続き、利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、在宅介護支援サービスを推進していく。

**◇結核検診・総合検診**  
 65歳以上の方を対象に例年実施している結核検診を5月13日に実施し、38名の受診があった。定期的に診療所等でレントゲンを撮られている方もおり、巡回バスで検診される方は年々少なくなっている。また、国保加入者を対象とした特定健診、一般住民の方を対象とした胃がん・肺がん・大腸がん等の各種がん検診を7月9日に実施す



播種に向け作業を進める様子（咲来地区）

る。各種検診を計画的に実施し、多くの皆さんに受診いただくことで、疾病予防や早期発見につなごう。本村の特定検診の受診率は、道内の中でも高い水準にある。今後ともご自身の健康第一で、健康推進事業へのご理解とご協力をお願いしたい。

**●経済課関係**  
**◇農政関係**  
 昨年より早い雪解けだったものの、5月の日照不足や平年を上回る降水量によって、耕作作業は遅れ気味だったが、そばの播種については平年どおり6月中旬頃から行われる見通し。また、村に

春を告げるホワイトアスパラは、昨年より4日早い4月15日から出荷が開始された。5月の収量や販売単価は平年並みだが、4月の高単価の時期に収量が多かったことから、昨年以上の出来高が期待される。施設栽培のフルーツトマトや路地栽培のキヌサヤの植え付けは、順調に進んでいる。農業者の皆さまにとって豊潤の秋を迎えられるよう期待している。

**◇林政関係**  
 5月29日に予定していた植樹祭は、前日からの降雨により中止とした。用意していたエゾヤマザクラの苗木は、6月2日に地域の皆さまにもご協力いただき、中島公園に植樹した。森林の大切さを学ぶ貴重な機会であり、次年度以降も継続的に開催できるよう準備を進めていく。

村有林整備事業は、人工造林事業を6月12日までの工期で、グイマツなど9000本を植栽中。また、村有林下刈り事業は17・63haを予定している。

**◇商工観光関係**  
 住民保養センター天塩川温泉の令和7年度売上額が対前年比で3%減となった。北海道全体として道外観光客数が22%減少し、宿泊費の増加に伴う旅行需要の抑制が主な要因として挙げられており、その影響があったものと推察している。今年度も、(株)北海道クボタ様による新人研修、冬期のクロスコントリースキー大会の需要を見込んでいる一方で、公共工事関係者の長期宿泊が見込めないことから、家族連れ観光客等の獲得に繋げる取り組みを期待している。

音威富士スキー場の営業日数は75日で、リフト輸送人員2万9925人、売上額379万5千円となり、対前シーズン比で輸送人員1万1908人、売上額53万7千円の減となった。記録的少雪・高温によって営業日数が7日減となり、オープン翌日から暖気・降雨による営業休止や2月から3月にかけて暖気



南部橋

の影響から、降雨によるコンクリーション悪化が主な要因と思われる。今後、創意工夫を図り、売り上げ増に取り組んでいく。

◇施設整備・建築関係  
令和6年度から着手している橋梁長寿命化修繕事業は、村道音威子府神社線に架かる神社橋の補修工事を6月中に発注する予定。本村管内橋梁点検委託業務は、止若内線に架かる南部橋をはじめとした全34橋の損傷箇所目視点検を行う。

冬期間の除雪等で損傷した道路の補修工事を随時施工しており、通行に支障がないよう配慮してもらっている。安心・安全な道路網を維持していくため、ご

理解とご協力をお願いする。

北海道開発局関係の工事は、昨年度に引き続き箴島大橋の工事が行われる。工事期間中は片側交互通行となる予定。また、河川関係については、天塩川改修工事として築堤の工事が予定されている。工事関係車両が通行することになり、村民の皆さまにはご不便をおかけすることになるが、ご理解願いたい。

建築関係は、公営・村営住宅の修繕聞き取り調査を行い、予算の範囲内で修繕作業を進める。

**教育行政報告（要旨）**  
**教育長 高橋 利玄**

●**学校教育関係**

各学校等における5月1日現在の園児・児童・生徒数は幼稚園3名、小学校9名、中学校7名、高等学校111名。

◇**幼稚園教育関係**

幼稚園関係は、4月4日に幼児センター入園式を行い、新入

◇**上下水道関係**

簡易水道・農業集落排水事業については、公営企業会計包括事務支援委託業務として、公営企業会計移行後の会計整理、決算書作成業務に着手している。引き続き、補正予算や予算作成等の支援を受けながら公営企業会計の整備に努めていく。また、水道メーター交換工事は今年度、64戸を交換する予定。工事の際には一時断水等、ご不便をおかけするが、ご協力いただきたい。

以上、行政報告とする。

園児の1名が入園。幼稚園の教育目標である「身体をきたえ、粘り強い子・明るく、すなおで、助け合う子・よく考え、進んで学ぶ子」の達成に向け、職員が一丸となつて取り組んでいく。

◇**義務教育関係**

4月7日に小中学校の入学式が行われ、小学校1名、中学校2名の新生が新しいスタートを切った。教育目標である「みがき

きたえつなぐ」の具現化に向け

全教員が一体となった教育活動を推進するとともに、「子どもにとって『楽しい学校・明日も行きたい学校』・教職員にとって『いきいきと働きたいのある学校』・保護者、地域住民にとって『安心できる学校・信頼できる学校』」を重点目標に位置づけ、特色ある教育活動を展開していく。

5月8日に小学校で交通安全教室を実施した。実際に公道を自転車で走りながら交通ルールを確認し、駐在所長からは、「今の交通ルールを守る姿勢が大人になつても必要なこと」などをご指導いただいた。交通ルールを守って交通事故の防止に繋げていくことを期待している。

4月8日に37名の新生を迎え、その出身地域は、道内が24名、道外が13名となった。全年を合わせた道外からの入学者は34人と全生徒の約30%を占め、学校説明会やSNSを活用して同校の教育内容を広く周知したことなど、高校選びの選択肢として、全国的に認知されるに至つたものと考えている。

◇**高等学校教育関係**

おといねっふ美術工芸高校は「道内唯一の工芸専科高校であり、全国から芸術を志し、生徒が集う高校として、造形体験を通して創造力を育み、豊かな人間性の育成と個々の生徒の多様な進路目標を叶える、確かな専門教育を推進する。」ことをスクールミッションに掲げ、教職員が一丸となり生徒一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育活動を推進している。

4月8日に37名の新生を迎え、その出身地域は、道内が24名、道外が13名となった。全年を合わせた道外からの入学者は34人と全生徒の約30%を占め、学校説明会やSNSを活用して同校の教育内容を広く周知したことなど、高校選びの選択肢として、全国的に認知されるに至つたものと考えている。

東海大学札幌キャンパス校との高大連携教育事業は、5月14日に3学年と1学年を対象に同



大学の教授による出張授業を実施した。高大相互の教育の交流を通じて、おと高校生徒の充実した教育や教職員の資質の向上を図り、魅力ある学校づくりを推進していく。

今年についても積極的に全国へ向けて学校PRを進めるため、「地域みらい留学フェスタ」(7月・大阪・8月・東京)「彩の国進学フェア」(7月・埼玉)へ出展していく。おといねっぷ美術工芸高校の魅力を伝え、今後の生徒募集に繋がる有意義なものにしていきたい。



2026木の手作り展 ポスター

生徒募集の一環として開催しております「木の手づくり展」を6月27日・28日に「旭川市民文化会館」で、7月31日から8月2日まで「札幌エルプラザ」で開催する。学校説明会や生徒による木工体験ができるワークショップも実施し、おといねっぷ美術工芸高校の特色ある教育活動の実践発表をPRしていく。

●生涯学習関係

◇社会教育関係

3年目を迎えた放課後子供教室は、現在8名の児童が利用しており、利用時間が長くなる夏

休みを前に、関係各位のご協力を得ながら体験活動等を計画している。「フィールドくらぶ」は、上川管内の青少年育成事業として、良い評価を受けており、本年度も小学3年生から5年生までの4名での活動をスタートした。第1回目は中川研究林様のご協力をいただき「木工体験」を実施した。今年度も遊びやスポーツをとおして体を動かす楽しさや、体力増進を図る一方で、地域の皆様とのつながりも大切にしながら学んでいく活動を継続していく。

6月4日、地域活性化起業者「きよせらぼ」との共催で「音威子府灯りのコンサート」が開催された。「音楽に親しみ、音楽で村を盛り上げよう」と開催されており、来場した約70人の村民とともに、コンサートを準備してきた小学生や村民有志の熱演により大盛況となった。今後より多くの村民が、楽しく参加していただけるよう、サポートしていく。

7月には同じく「きよせらぼ」の協力を得て、小学生を対象とした利尻島でのキャンプ宿泊体験事業、中学生を対象とした清瀬市との交流事業のひとつとして同市で開催される「環境川まつり」への参加を予定している。本村の子供たちが広い視野を持つて、都市や地方との相互理解を深め持続的な地域連携につながる生きる力が育まれることを期待している。

◇社会体育関係

社会体育関係については、一般村民の体力維持・増強および効果的な運動習慣を身につけることを目的に「ヘルシーフィット



ボッチャに挑戦 (ヘルシーフィット)

トネス」を実施し、3年目を迎えた。今年度は月2回実施することとして、これまでの3回で延べ32名の参加があった。参加者は筋トレやストレッチを中心に教わり、体の可動範囲の広がりなどを体感している。年齢男女問わず多くの参加を期待している。

パークゴルフ場は、5月1日にオープンし、数多くの住民の方にご利用いただいている。夏に向かい気温が上昇してくるこことから、愛好者の方々には熱中症対策等に留意されプレーを楽しみながら、健康および体力の増進につなげていただきたい。

村民運動会については、7月5日に開催することとなった。近年、平均気温が高くなっており、気温上昇により運営に支障が出るのが危惧されるが、多くの村民の参加のもとスポーツレクリエーションを通じて地域の連帯感を強め、村民運動会が成功裏に終了することを願う。以上、教育行政報告とする。

# 令和8年第2回（6月）定例会 一般質問

## 「診療所の今後の体制について」

質問者 小西邦広 議員  
答弁者 遠藤村長

小西議員

入院病床の受け入れが休止となって約2年が経過するが、今後、診療所の入院病床を再開する予定はあるか。

村長

指摘のとおり、前法人から入院患者が不在となり、看護師不足や給食会社の撤退が重なって休止しているのが現状。現在は名寄市立総合病院をはじめとする近隣医療機関の協力で救急対応等の連携をとっている。

現在の指定管理法人の考えでは再開への検討意向はあるが、「看護師の補充」「入院食を提供する給食会社の確保」「昨今のマンパワー不足と物価高騰による人件費等の経費課題」が障壁になっている。曾田所長が着任して1年が経過し、地域の実情を鑑みても「現時点での早急な受け入れ再開は困難」と言わざるを得ない。今後も指定管理者としっかり協議していく。

小西議員



入院病床をすぐに再開しないのであれば、「サテライト診療」の拡充を考えてはどうか。以前行われていた皮膚科や眼科の再開を望む声は多い。自家用車を持たない高齢者が公共交通を使用し、村外の病院に通院するとなると、1日がかりになってしまう。緊急ではない場合、月1、2回でも地元で診てもらえると非常に便利だ。今後の見通しはどうか。

村長

現在も松田整形外科記念病院のご協力により毎月整形外科の診療を実施しており、村内外から多くの受診がある。しかし、以前実施していた眼科や皮膚科については、「患者数の減少」と「経費

のバランス」により、止むを得ず終了したという経緯がある。

新たな動きとして、現在、上川北部・宗谷南部圏域の状況から、旭川医科大学側より「循環器専門外来」の患者の受け皿として音威子府村立診療所への医師派遣を依頼されている。今後、名寄市や枝幸町などの近隣医療機関と協議し、ニーズや経費面の課題を精査しながら随時検討したい。



入院病床がある村立診療所2階

小西議員

かつて皮膚科や眼科があったことで「あつて良かった」という感覚が住民の中に残っている。人手や経費の面で入院病床の再開が難しいのであれば、トータル的な整合性を考慮し、地域医療の充実という観点からサテライト診療を前向きに考えてほしい。

村長

病床再開やサテライト診療にかかる経費が不透明なため、担当課にシミュレーションの作成を指示している。また、医師の派遣元との調整や住民のニーズ精査も進めていく。議員各位にも住民の声を届けてもらうなど、協力をお願いしたい。

小西議員

前向きな答弁をいただいた。住民の希望に対して財政的視点も含め、しっかり議論されることを期待する。その結果については、議会へ報告をいただきたい。

\*一般質問・答弁は中略・要約しています。

**可決・承認された議案**

**【承認第2号】**

専決処分事項の承認を求める件について（令和7年度音威子府村一般会計補正予算（第10号））

国の補正予算を活用した「小中学校冷房設備整備事業」について、補助金交付決定が3月9日にあり、同月30日に入札を行い事業費が確定したことと、年度内の完了が見込めず、予算を次年度へ繰り越す必要があったことから、同日に補正予算を計上し、専決処分した。その承認を求めるもの。

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ12万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を28億2987万6千円とするもの。

**◎主な補正内容**

**【歳入】**

- ・ 学校施設環境改善交付税  $\Delta 2$ 万4千円
- ・ 学校教育施設等整備事業債  $\Delta 10$ 万円

**【歳出】**

- ・ 小中学校職員室等  
冷房等設置工事費  $\Delta 7$ 万2千円
- ・ 予備費  $\Delta 5$ 万2千円

（原案どおり承認）

**【議案第3号】**

令和7年度音威子府一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

令和7年度一般会計に計上していた予算を令和8年度に繰り越したことにより、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、報告するもの。

**◎主な内容**

**【事業費】**

- ・ 小中学校冷房設備整備事業  $624$ 万8千円

**【財源内訳】**

- ・ 学校施設環境改善交付税  $208$ 万2千円
- ・ 学校教育施設等整備事業債  $410$ 万円
- ・ 一般財源  $6$ 万6千円

**【議案第24号】**

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員の任期満了に伴い、矢野宮子氏を人権擁護委員候補者として推薦したく、議会の同意を求めるもの。

（原案どおり同意）

**【議案第25号・26号】**

音威子府村固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、次の2名の選任について同意を得るもの。

- ・ 上出秀行氏（再任）
- ・ 菊池 聡氏（再任）

（原案どおり同意）

**【議案第27号、33号】**

音威子府村農業委員会委員の選任について

農業委員会委員の任期満了に伴い、次の7名の選任について、議会の同意を求めるもの。

- ・ 中山拓也氏（再任）
- ・ 名徳奈保氏（再任）
- ・ 立川貴紹氏（再任）
- ・ 内山 敦氏（再任）
- ・ 細川浩一氏（再任）
- ・ 東 良司氏（再任）
- ・ 玉田 健氏（新任）

（原案どおり同意）

**【議案第34号】**

音威子府村税条例の一部改正について

地方税法等の一部を改正する法律の施行により、「軽自動車税」、「個人住民税」、「固定資産税」等について所要の改正が行われたことに伴い、関係する音威子府村税条例について所要の改正を行うもの。

（原案どおり可決）

**【議案第35号】**

音威子府村国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険法施行令の一部改正により、国民健康保険税の基礎課税限度額等の改正及び子ども・子育て支援金制度の創設など、所要の改正が行われたことに伴い、関係する音威子府村国民健康保険条例の一部を改正するもの。

（原案どおり可決）

**【議案第36号】**

音威子府村乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正について

乳幼児等医療費助成の対象を高校生まで拡大するため、条文の一部を改正するもの。

（原案どおり可決）



【議案第37号】

音威子府村議会ハラスメント防止条例の制定について

本年3月の第1回定例会において行った議会改革特別委員会報告に基づき、村議会議員間のハラスメントおよび議員の地位を利用した村職員等に対するハラスメントを防止し、すべての議員・職員が個人の尊厳を尊重され、良好な職場環境の確保と信頼される議会の実現に資することを目的に制定するもの。

(原案どおり可決)

【議案第38号】

工事請負契約の締結について

「音威子府村議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」の規定により、議会の議決を求めるもの。

設光化改修工事

- ・ 工事名 テレビ共同受信施設
- ・ 契約方法 指名競争入札
- ・ 契約金額 1億3420万円
- ・ 契約相手 マスプロ電工㈱

札幌支店

・ 工期 令和9年3月31日

(原案どおり可決)



【議案第39号】

令和8年度音威子府村一般会計補正予算(第1号)について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3600万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ30億6700万円とするもの。

◎主な補正内容

【歳入】

- ・ 特別交付税 1998万3千円
- ・ 地域づくり総合交付金 210万円
- ・ 農業構造転換事業補助金 414万円
- ・ 基金繰入金 881万6千円
- ・ 前年度繰越金 96万1千円

【歳出】

- ・ 地域活性化起業人 副業型委託料 200万円
- ・ 地域おこし協力隊等 運営事業委託料 △105万6千円
- ・ 地域活性化構想 策定調査業務委託料 262万9千円
- ・ 移住・交流情報 プラットフォーム使用料 105万6千円
- ・ 公営企業会計繰出金 105万7千円
- ・ 農業構造転換事業補助金 414万円
- ・ 中小企業振興基本条例に係る 補助金 153万円
- ・ 天塩川温泉およびトムテ 修繕費 198万9千円



議会傍聴しませんか？

村議会本会議は、受付で名簿に住所・氏名を記入するだけで簡単に傍聴できます。

ただし、傍聴規則は必ず守っていただきます。

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)あり、日程はその都度、回覧等でお知らせしています。

【議案第40号】

令和8年度音威子府村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出予算の総額に増減はなく、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1910万円とするもの。

◎主な補正内容

【歳出】

- ・ 後期高齢者医療保険料 還付及び返納金 7万円
- ・ 予備費 △7万円

共済組合負担金 127万3千円

(原案どおり可決)

(原案どおり可決)

【議案第41号】

令和8年度音威子府村簡易水道事業会計補正予算(第1号)について

収益的収入および支出第1条収入第1款簡易水道事業収益に40万7千円を追加し、3640万8千円に、支出第1款簡易水道事業費用に40万7千円を追加し、4045万3千円にするもの。

◎主な補正内容

【収益的収入】

・一般会計繰入金 40万7千円

【収益的支出】

・漏水等修繕費 40万円  
・通信費 7千円

(原案どおり可決)

【議案第42号】

令和8年度音威子府村農業集落排水事業会計補正予算(第2号)について

収益的収入および支出第1条収入第1款農業集落排水事業収益に110万円を追加し、5695万8千円に、支出第1款農業集落排水事業費用に110万円を追加し、5886万7千円にするもの。

◎主な補正内容

【収益的収入】

・一般会計繰入金 110万円

【収益的支出】

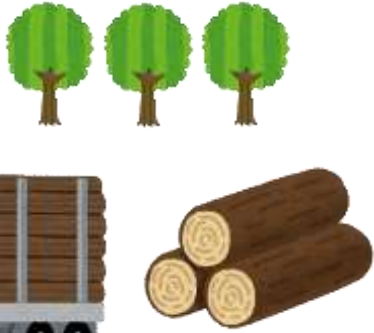
・配管修繕等費用 110万円

【意見書第1号】

「ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書(案)」の提出について

提出者 玉田 健  
賛成者 藤吉秀明

(原案どおり可決)



音威子府村  
公式LINE  
二次元バーコード

是非、ご登録を!

【意見書第2号】

「地方財政の充実・強化に関する意見書(案)」の提出について

提出者 杉山 均  
賛成者 小西邦広

(原案どおり可決)

【意見書第3号】

「令和7年度北海道最低賃金改正等に関する意見書(案)」の提出について

提出者 小西邦広  
賛成者 杉山 均

(原案どおり可決)

【発議第3号】

閉会中の調査の申し出について

閉会中に、住民福祉(子育て支援・医療・介護・福祉)の現況と課題の調査および人口減少問題に関する施策の検証と課題整理について調査が必要なため。

(原案どおり可決)

# 友好関係の構築に向けて

## 東京・清瀬市を訪問

— 道外視察研修 —

5月11日から13日にかけて、本村議会として東京都清瀬市を訪問し、「教育・福祉・医療」の各分野に関する視察を行ってきました。9頁から10頁にかけて分野ごとにその報告をします。

現在、本村の地域活性化起業者として教育を中心に活動している柿添信作さん。柿添さんが理事長を務める「NPO法人きよせラボ」が拠点としている東京都清瀬市は、『医療・福祉のまち』として独自の発展を遂げており、「医療」と「生活」を融合させた高齢者等が安心して暮らせる地域を作っています。

今回、人口規模や地理的環境こそ大きく異なりますが、自治の根本命題は同じであり、共有すべき知見があるとの考えから、「少子高齢化が進行している中において、行政・関係機関の連携による“支え合う関係”を構築し、誰もが安心して暮らせる村づくりに向け、清瀬市の各機関を視察し、村づくりの一助となるよう、医療・福祉の知見を広めるため、併せて、教育総合計画において『地域の子どもと市民、ひいては町づくりを一体的に育む教育の実現』を掲げている清瀬市の教育現場を視察し、実践事例から、本村児童生徒との交流事業の発展に活かしていくこと」を目的として実施してきました。



「きよせラボ」の柿添理事長(左)

**【表敬訪問】**

＜清瀬市議会＞

清瀬市・森田正英議長からは歓迎のことばとともに、この間の川まつり等での交流に対して感謝の言葉があった。今後の交流について、さらなる友好関係の構築についても言及があった。

＜清瀬市＞

清瀬市・原田ひろみ市長から、議員団歓迎のご挨拶と今後の交流に対する期待、さらには、友好都市への発展について可能性が十分にあるとの認識が示された。

坂田 篤 教育長は、清瀬教育の日に開催している「ヒブリオ・フォーラム」について触れられ、今年の同イベントに本村の中学生に参加してほしい旨が話され、児童生徒の交流に期待感が寄せられた。

**【教育分野】《コミュニティスクールをはじめとした地域連携について》**

視察先：清瀬第三小学校・清瀬第七小学校

コミュニティスクール導入の背景には、市の「社会総がかりで子供を育む」という理念があり、市立の小中学校全校に「学校支援本部」が設置されているとのことであった。これにより、支援したい人と学校のニーズがマッチングでき、地域の方々とともに繋がり支え合うコミュニティの構築に結び付いているとの説明であった。



清瀬第三小学校での説明

感心した点の一つとして、東日本大震災の際に都心に勤める保護者が帰宅難民となってしまったことを教訓に、家庭・地域との連携強化の視点から、全児童が防災グッズの用意をしている点が挙げられる。空き教室1室を市の備蓄品倉庫として活用する同時に、児童の防災グッズを収納。内容物は共通の物として、ひと晩過ごすために必要な水などがあり、その他は子どもが安心して一夜を過ごすために必要なものが各家庭の判断で備えられており、防災意識の高さが伺えた。

「地域に開かれた学校」を絵に描いた餅ではなく、真に「地域に開かれた学校」となるよう取り組んでいる様子が随所に見られた。それは教員も然り、学校支援員も然りであった。

様々な活動に対して「できる人ができる日にやる！」をモットーに協力体制を構築しているとのこと。

**【福祉分野】《地域福祉を担う人材育成及び福祉課題解決に向けた取り組みについて》**

視察先：日本社会事業大学

今年2月に締結した包括連携協定により、本村でのフィールドワークや地域複合施設『ときわ』での実習といった人的交流の広がりについて言及された。関東圏出身の生徒が多く、「地方」「へき地」を自分事として捉えきれていない実態もあり、実習等で「地方」「へき地」に実際に赴き、直接肌で感じる（実体験を得る）ことは学生にとってもプラスになると考えられるとのこと。一方、人手不足の本村にとっても、決してマイナスな取り組みではないと考えられる。



横山学長(左から4番目)を囲んで。右端は永嶋准教授

**【医療分野】《へき地における医療および薬学に関する最新の研究・実践事例について》**

視察先：明治薬科大学

医療分野で視察を考えていたが、本村の薬局が閉業となってしまったこともあり、広義における医療分野ということで、薬科大学に伺った。そのため、薬局・薬剤師に関する話題が中心となった。専門的かつ各地の様々な取り組みをご教示いただいた。(以下、箇条書き)

- ・学生の8割は埼玉県・東京都出身。北海道から入学する者は近年いない。(道内3大学に薬学部あり)
- ・同大学での地域枠入試制度は、地方に薬剤師を送り込むものではなく、薬学部のない県からの入学枠。
- ・同大学の特色として、医療資源が限られた離島において多職種連携や地域医療の現場を学ぶため、島しょ部研修を実施している。
- ・薬剤師の確保という点での協力は難しい。奨学金の返済には苦労している実態も多く聞くので、医療従事者を確保するのと同様に、就業支援金制度のような施策は有効かと思われる。



越前学長(左端)との意見交換

**【最後に】**

今回の視察を踏まえ、住民と子どもの距離の近さを活かした地域交流の場の創出、さらに、学校と一体となった地域づくりの必要性を強く感じた。また、包括連携協定を結ぶ日本社会事業大学との交流を深め、関係人口や移住者の呼び込みに向けた体制の整備、さらに、住民の安心を守る安定した医療・薬局体制の維持に向け、様々な取り組み、制度の創出を目指す必要があるとの認識を持った。

これらの推進には、清瀬市との友好関係の構築が大前提になると思われる。今後のさらなる友好関係の構築・醸成に向けた取り組みを期待して、簡単ではありますが報告といたします。

＜音威子府村議会議員団＞

**議会のうごき**

<b>【 4月 】</b>			
16日	富山県議会議員来村 (表敬訪問)	役 場	( 議 長 )
<b>【 5月 】</b>			
11日～13日	道外視察研修	東 京 都	(全 議 員)
14日	例月出納検査	役 場	(関係議員)
15日	音威子府村老人クラブ鶴亀会総会	村 内	( 議 長 )
18日	上川北部消防事務組合議会第1回臨時会	名 寄 市	(関係議員)
18日	名寄地区衛生施設事務組合議会第1回臨時会	名 寄 市	(関係議員)
19日	音威子府村商工会通常総会	村 内	( 議 長 )
20日～21日	上川北部市町村議会議長会総会 (5月定例会)	剣 淵 町	( 議 長 )
25日	音威子府村観光協会総会	役 場	( 議 長 )
	道北各種期成会合同定期総会/宗谷本線活性化推進協議会総会	名 寄 市	( 議 長 )
26日	天塩川中部商工会広域連携協議会通常総会	美 深 町	( 議 長 )
<b>【 6月 】</b>			
3日	上川地方総合開発期成会定期総会	旭 川 市	( 議 長 )
4日	行政常任委員会	役 場	(全 議 員)
5日	道外視察研修報告	役 場	(議長/委員長)
9日	北海道町村議会議長会総会	札 幌 市	( 議 長 )
11日	村議会第2回定例会	議 場	(全 議 員)
15日	例月出納検査	役 場	(関係議員)
23日～24日	上川町村議会議長会役員会	中富良野町	( 議 長 )